

大河原商業高等学校

校是 文質彬彬 (ぶんしつひんぴん)



1 基本データ

創立：昭和17年
課程・学科：定時制課程・普通科
生徒数：20名
所在地：〒989-1201
柴田郡大河原町大谷字西原前154-6
TEL：0224-52-1064
FAX：0224-52-1568

ホームページアドレス：
<https://ogs-nhs.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
ogs-nhs@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR東北本線 大河原駅下車徒歩10分
宮城交通 川崎・村田方面 大河原駅前バスプール下車
徒歩10分

2 学校の特徴

少人数教育！

定時制だからその魅力

少人数クラスでのきめ細やかな指導で、あなたの力を伸ばします。
「働きながら学ぶことで自信を持つ生徒を育成し、規律と礼儀を重んじ、責任ある行動のとれる人」を目指します。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校の全日制課程は大正11年に大河原町立実科高等女学校として創立され、幾多の変遷を経て、昭和48年に現在の校名に改称されました。定時制課程は、昭和17年4月に宮城県大河原中学校として開校しました。現在、全日制課程は県内最大規模の商業高校ですが、定時制課程は普通科です。卒業生はすでに合計1,821名にのぼり、各界で活躍しています。

校章は大河原商業高等学校の頭文字「大」を図案化したもので、内容は、二つの半円が商業高校の英語訳 Commercial high School の頭文字で、同時に男女共学を意味し、互いに協力しながら向上躍進する姿を表しています。

(2) 教育方針

〈校是〉「文質彬彬 (ぶんしつひんぴん)」
「文」とは外面に表れた美しさであり、「質」とは内面の実質であり、それらが程良く調和し、共に備わっていることを意味する。つまり、品格のある態度・言動等を心掛けるとともに、知性・教養等が豊かで、それらのバランスが取れた人間を目指すこと。

〈教育目標〉

「生徒一人ひとりが心豊かで、薫り高い芸術文化の創造者になるとともに、社会に貢献できる人間を目指す」であり、その具体的な目標としては、次の5点である。

〈具体的な目標〉

- 1 教養・人格・心身のバランスが取れた人間
- 2 生命の尊重
- 3 責任と規律の重視
- 4 勤労意欲の向上
- 5 基礎基本の習得

〈重点目標と具体的指針〉

- (1) 「令和の日本型学校教育」の推進
 - (2) 閉校に向けて残された2年間を、生徒自身が意義と喜びを十分に実感し、この歴史と伝統ある大河原商業高等学校の最後の卒業生として、誇りを持って社会に出られるように、全力で支援する。
- ① 確かな学力の保障と発展 (スタディサプリ・Google Workspace for Education)
 - (ア) 普通教科の基礎基本及び商業に関する専門知識の習得
 - (イ) ICTの有効活用による「わかる授業」と知識の用途の明示
 - (ウ) 主体的・対話的で深い学びに結びつく学習指導
 - ② 言語活動の充実
 - (ア) コミュニケーション能力の育成
 - (イ) 主体的に発言する態度と相手に意思を伝えられる能力を養う
 - ③ 自主性のある生徒の育成
 - (ア) リーダーシップの育成
 - (イ) 積極的に参加する意欲の育成
 - ④ 部活動の充実
 - (ア) 生徒と寄り添う姿勢と信頼関係
 - ⑤ 進路指導の発展を見据えた指導
 - (ア) ICTを活用した基礎基本の習得
 - (イ) 早い段階での進路目標の設定
 - ⑥ 防災教育と健康・安全指導の充実
 - (ア) 安心安全の環境作り
 - (イ) 緊急時の対応と外部機関との連携
 - ⑦ 心のケアの充実
 - (ア) 生徒に寄り添う教育相談と関係機関等との連携の充実
 - (イ) 必要な情報の共有とプライバシーの保護
 - (ウ) 孤立させない環境作り (心と体の居場所作り)
 - ⑧ 開かれた学校づくり
 - (ア) ボランティア活動の充実
 - (イ) 対外的な行事の参加 (記念式典・入社式・中体連など) → コロナの状況次第
 - (ウ) 地域への広報活動

(3) 教育課程の特徴

カリキュラムは普通科としての科目が中心ですが、商業科目も各学年で学びます。ホームルームを除いて各学年で19単位ずつ履修し、必要な単位数を修得すると卒業できます。夜間定時制という特性から、夕方5時30分から4時間授業です。授業で学んだことをさらに深めて、検定試験を受験する生徒もいます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事は以下のとおりです。

- (4月) 部活動登録、全校集会
- (5月) 修学旅行、I 期中間考査、生徒総会、
- (6月) 仙南定通体育大会、県定通体育大会 授業公開①
- (7月) I 期期末考査、生徒会行事①
- (9月) 生徒の集い、生徒会役員改選
- (10月) II 期中間考査、全校制作、遠足、生活体験発表会
- (11月) 授業公開②
- (12月) II 期期末考査、生徒会行事②
- (2月) 学年末考査、予餞会、同窓会入会式
- (3月) 卒業式

本校では、生徒会役員を中心にそれぞれの生徒が日頃の仕事や社会での経験を生かし、先輩・後輩が一緒になって様々な行事に取り組みます。年2回の生徒会行事や遠足、予餞会など楽しい行事が行われています。

部活動の運動部には卓球、バドミントン、柔道があり、毎年6月に行われる仙南大会や県大会に向けて活動しています。その他、文化部では読書、ワープロ、イラストなど自分の興味関心を生かす活動をしています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
大学	0	0	0
短期大学	0	0	0
専各学校	1	1	2
就職(県内)	9	8	4
就職(県外)	0	0	0
その他	3	6	3
卒業生計	13	15	9

主な進路先(令和5年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

〈専修各種学校〉

仙台大原簿記情報公務員専門学校

〈就職〉

(株)イズムフーズ、やしる商事(株)、(株)丸山運送、宮城製粉(株)、BLOOM(株)、(株)三光ダイカスト工業所 宮城工場、山元いちご農園(株)、日建リース工業(株)、(株)ダイハチ

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

定体連大会（仙南大会・宮城県大会）

6月に高等学校体育連盟定時制通信制体育大会が開催されました。参加した各部の選手の皆さんは、堂々と日頃の練習の成果を発揮しベストを尽くしてきました。

柔道部は団体戦及び個人戦で見事に優勝を果たし、本校生3名が8月に講道館（東京都）で行われる全国大会の宮城県代表に選ばれました。

バドミントン部は仙南大会個人戦第3位、県大会では個人戦の初戦を突破しました。

卓球部は個人戦で仙南大会優勝し、県大会でベスト8の成績を残しました。



宮城県高等学校定時制通信制 生徒の集い



大商生が運営を担当し、県内11校の生徒を本校に迎えて、障がい者スポーツポッチャを学び、交流を深めました。県内11校から45名の生徒が本校体育館に集まり、障がい者スポーツ「ポッチャ」のルールを学び、学校対抗のゲームを行いました。

生徒会役員ら15名が、準備から当日の進行や審判などを行いました。2年後の閉校を控えて最後の担当になりましたが、皆しっかりと役目を果たしました。

(2) 主な学校行事

修学旅行（京都・大阪2泊3日）

初日は、仙台空港から飛行機で伊丹空港へ。その後、京都に移動し、金閣寺と清水寺を拝観しました。第2日は、京都市内を中心に班ごとの自主研修です。伏見稲荷、二条城や水族館など、各班で計画していたコースを回りました。慣れない土地で迷ったりしましたが、最後は全員無事にホテルに戻ることができて、よい表情で充実した研修になったようです。最終日は、大阪に移動してUSJ（ユニバーサルスタジオジャパン）で楽しみました。



生徒会行事①「ボウリング大会」

令和4年度もボウリング大会を行いました。昨年は初めての方も多かったのですが、さすがは2年目、ハイレベルのゲームが多かったように感じました。夏休みを前に、和気あいあいと楽しむことができ交流を深めることができました。



生徒会行事②

「スポーツ、カードゲーム、テレビゲーム」

第2回生徒会行事は新執行部を中心に時間をかけて企画を練り上げて準備しました。当日は、各自がスポーツ、カードゲーム、テレビゲームのうちから一つを選択して取り組み、その後ピンゴ大会を全員参加で行いました。放送による開会式を終えた後、スポーツを選んだ生徒は第1体育館でバドミントンで勝ち負けを競い、カードゲームを選んだ生徒は教室で大富豪やババ抜きで交流を深め、テレビゲームを選んだ生徒は第2体育館と教室でスプラトゥーンやスマッシュブラザーズなどで楽しみました。



全校制作「ありがとう大商」見事に完成



大商祭の定時制作品として羊毛フェルトによる壁画作成を行いました。デザインには、学校の校舎と地域を象徴する桜の花を背景に「ありがとう大商」のメッセージを込めました。4分割した原画を2年生と4年生は各1枚ずつ、3年生は2枚を担当して、針を使って様々な色に染めた羊毛を貼り付けていきました。悪戦苦闘もあり

ましたが、みんなの協力で各学年で作成が進み、できあがったものを昇降口で合体させて見事な壁画が完成しました。

(3) 学校制服紹介

服装は自由を原則としています。運動着も特に指定しておりません。上履き（サンダル）、体育館シューズは購入していただきます。

4 在校生からのメッセージ

生徒会長 山家 和笑さん（船岡中出身）

本校は夜間定時制で、大会や学校行事を除いてほとんどの授業が夕方から始まる学校になります。簿記や情報処理などの商業科目も勉強することができ、そこから検定試験へつなげ、進路に役立てることができます。先生方は生徒の意見を柔軟に受け入れ尊重してくれます。例えば、昨年の生徒会行事では生徒会の企画でスポーツ・カードゲーム・テレビゲームを行いました。

全日制の高校のように部活動に打ち込むこともできますし、学校が始まる前の昼間の時間を活用してアルバイトや自動車学校に通ったり、進路学習に充てたり、家族や友達と過ごすなど、自由に使える時間が多くあります。

1クラスの人数が少ないため、大勢の人が苦手な人にも通いやすいのではないのでしょうか。私はそのおかげで緊張する場面が減り、マイペースに過ごすことができました。

全日制に通うことが難しい人が通うところというイメージがあるかも知れませんが、自分の進路についてじっくり余裕を持って考えていきたい人には向いているのではないかと思います。